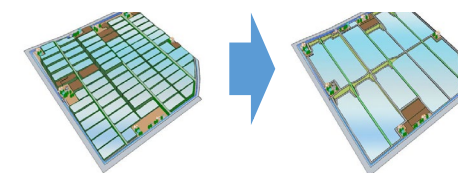
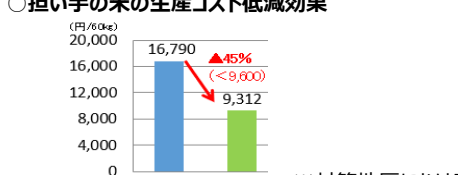
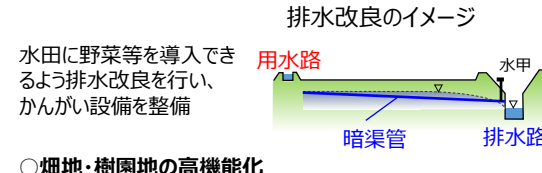
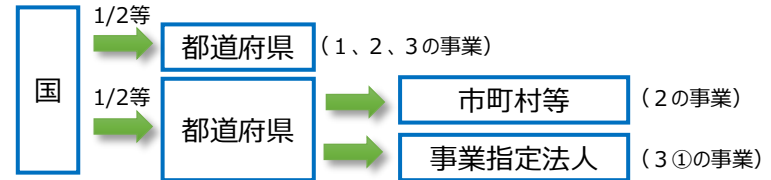


＜対策のポイント＞
「総合的なTPP等関連政策大綱」（令和2年12月8日TPP等総合対策本部決定）に則し、**農畜産業の体質強化**を図る観点から、**担い手への農地の集積・集約化、農産物の高付加価値化・生産コスト削減**など農畜産業の競争力向上に必要な**生産基盤整備**を実施します。

- ＜事業目標＞
- 担い手の米の生産コストの削減（9,500円/60kg以下、かつ、おおむね10%以上）（1の事業）
 - 主食用米を除く作物生産額に占める高収益作物の割合（おおむね8割以上）、かつ、高収益作物の生産額の増加（おおむね10%以上）等（2の事業）
 - 飼料作物の単位面積当たりの収量の増加（25%以上）（3の事業）

＜事業の内容＞	＜事業イメージ＞
1. 農地の更なる大区画化・汎用化の推進 地域計画を策定した区域において、担い手への農地集積・集約化を加速し、米の生産コストの早期かつ大幅な削減等を図るため、スマート農業に適した農地の大区画化や排水改良、水管理の省力化等を推進します。 2. 水田の汎用化・畑地化、畑地・樹園地の高機能化の推進 高収益作物を中心とした宮農体系への転換を促進するため、排水改良等による水田の汎用化・畑地化、スマート農業に適した農地の区画拡大、畑地かんがい施設の整備等による畑地・樹園地の高機能化等の基盤整備を推進します。 3. 畜産クラスターを後押しする草地整備の推進 肉用牛・酪農の生産基盤強化のため畜産クラスター計画を策定した地域において、飼料作物の単位面積当たりの収量の増加、生産コストの削減に資する草地の大区画化等の整備を推進します。 ①大型機械化体系に対応した草地整備事業 ②家畜ふん尿を活用した肥培かんがい施設の整備 ③泥炭地帯における草地の排水不良の改善	1. 農地の更なる大区画化・汎用化の推進 ○農地の大区画化  ○担い手の米の生産コスト低減効果  ※対策地区における平均値 2. 水田の汎用化・畑地化、畑地・樹園地の高機能化の推進 ○水田の汎用化・畑地化 排水改良のイメージ  水田に野菜等を導入できるよう排水改良を行い、かんがい設備を整備 ○畑地・樹園地の高機能化  大区画化 大型機械の導入 3. 畜産クラスターを後押しする草地整備の推進  大型機械化体系に対応した草地整備 生産性向上のための緩傾斜化

＜事業の流れ＞ ※ 事業の一部は、直轄で実施（国費率2/3等）



【お問い合わせ先】

(1及び2の事業)	農村振興局	農地資源課	(03-6744-2208)
		水資源課	(03-3502-6246)
		水資源課	(03-3502-6244)
		防災課	(03-3502-6430)
		飼料課	(03-6744-2399)
(2の事業)			
(3②の事業)			
(3③の事業)			
(3①の事業)	畜産局		